

- 論文はMS-Wordで作成し、A4横書き40字×40行（印刷の向きは縦）に書式設定してください。
- 論文は、表題頁、要旨、本文、文献、図・表から成るものとします。また必ず英文要旨をつけて下さい。
- 表題頁には、論文種目（研究論文、実践報告など）、表題、著者名（5名まで、「投稿規定」3を参照）、所属、キーワード（学術誌「作業療法」2024年10月改訂のキーワード集より3～5個）を記載して下さい。作業療法キーワード集にない日本語キーワードにはカッコを付けて下さい。英語キーワードにはカッコは不要です。また同じ頁に、これらに対応する英訳をつけて下さい。
- すべての論文に300字以内の要旨と100～250ワードの英文要旨をつけて下さい。原則として、目的、方法、結果、結論が明らかになるように記述して下さい（特に「研究論文」の場合）。見出しを用いて記載する場合は、**【】**を用いてください（例**【目的】**）。英文要旨は、著者の責任において、適正な英文原稿を提出して下さい。なお、学術誌編集委員会では英語を母国語とする人に英文の点検を依頼していますので、委員会の責任において、英文を変更させていただくことがあります。
- 論文の本文は、A4サイズ横書き40字×40行（印刷の向きは縦）に書式設定し、行頭に行番号をつけフッターにページ番号を挿入して、文字サイズは10.5ポイント、書体はMS明朝、英数字はCenturyとしてください。原則として、はじめに、方法、結果、考察、結論が明らかになるように書いて下さい（特に「研究論文」の場合）。また、原稿には頁番号をつけて下さい。本文中の倫理審査、COI、謝辞、助成金情報等の記載において、個人名や所属機関名等は記載しておいて下さい。査読時は、編集委員会の方でブラインドいたします。
- 文章表現は以下の点に留意して下さい。
 - ①現代かなづかいとし、数字は算用数字、数量は国際単位系（SI単位）記号を用いる（例；m、cm、mm、ml、kg、cm²など）。
 - ②外国人の人名には原語を用い、活字体で明瞭に書く。
 - ③学術用語はできるだけ訳語を用い、必要に応じて（ ）内に原語を入れる。日本語化しているものはカタカナとする。
 - ④本文中で複数回略語を使用する場合は、初出箇所（以下、略語）のように明示してください。（例1作業療法（以下、OT）例2作業療法（Occupational Therapy；以下、OT））
 - ⑤本文中の句読点は、全角のカンマ（,）とピリオド（.）を使用してください。
- 倫理上の配慮について
論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従ったものである必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。編集委員会は、必要に応じて、これらの事項に関する証明を投稿者をお願いすることがあります。なお倫理審査を経ている場合は、承認番号（ない時は、承認年月日）を記載して下さい。また、利益相反（COI）のある場合は、本文の最後（文献の前）に明記して下さい。倫理審査機関が設置されていない場合は、倫理審査の代替手段として所属施設（または部門）の責任者（共著者に含まれない者が望ましい）より、研究および投稿について文書による承認を得て、その旨を本文中に記載（例 本投稿について、所属長より書面にて承認を得た）し、その文書を提出して下さい。また、研究対象者へのインフォームド・コンセントの手続きについて、本文中に記載してください。
- 引用・転載について
論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行って下さい。論文中に他の著作物からの引用を行うときには、その出典を明記して下さい。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。

- 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列して下さい。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”（または“et al”）とすることを原則とし、表記の形式は以下の例にならして下さい。
 - 例1）【和文雑誌】 著者：論文タイトル. 雑誌名 巻数（号数）：開始終了ページ，発行年.
能登真一，村井千賀，竹内さをり，岩瀬義昭，中村春基：地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果—多施設共同ランダム化比較試験—，作業療法 33(3)：259-269，2014.
 - 例2）【和文書籍】 著者：章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修，書名（巻数）版数，出版社，発行年，pp.（開始終了ページ）または p.（単ページ）.
澤田雄二：作業療法ガイドライン. 日本作業療法士協会・監修，作業療法概論（作業療法学全書 1）第3版，協同医書出版社，2010，pp.52-59.
 - 例3）【欧文雑誌】 著者：論文タイトル. 雑誌名 巻数（号数）：開始終了ページ，発行年.
Law M, Baptiste S, McColl M, Opzoomer A, Polatajko H, et al: The Canadian occupational performance measure: An outcome measure for occupational therapy. Can J Occup Ther 57(2): 82-87, 1990.
 - 例4）【欧文書籍】 著者：章タイトル. In 書籍の編者（ed または eds），書名（巻数）版数，出版社，発行都市，発行年，pp.（開始終了ページ）または p.（単ページ）.
Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J (ed), Occupational therapy and mental health, Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.
 - 例5）【和文 Web ページ】 ページ作成者：ページタイトル. URL（参照 参照日）.
日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/（参照 2020-06-15）.
 - 例6）【欧文 Web ページ】 ページ作成者：ページタイトル. URL（accessed 参照日）.
World Federation of Occupational Therapists: About occupational therapy. <https://wfot.org/about/aboutoccupational-therapy>（accessed 2020-12-15）.
 - 例7）【オンラインジャーナル（Web 公開のみの雑誌）】 著者：論文タイトル. 雑誌名 巻数（号数）：Article ID，発行年，doi.
Nuño L, Guílera G, Coenen M, Rojo E, Gómez-Benito J, et al: Functioning in schizophrenia from the perspective of psychologists: A worldwide study. PLoS ONE 14(6): e0217936, 2019, doi: 10.1371/journal.pone.0217936. 10）日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/（参照 2020-06-15）.
- 図・表は次の点に留意して下さい。
 - ①図は白黒で印刷されるので、鮮明でそのまま製版できるものを準備する。ただし、カラー印刷の希望がある場合は、学術誌編集委員会へお問い合わせ下さい。
 - ②写真（図として扱う）は、カラー写真より白黒写真の方がきれいに仕上がる。トリミングを工夫する。
 - ③図・表はすべて表題をつけ、それぞれを本文とは別にまとめる。図・表は必要があれば説明文も入れる。
 - ④本文中および欄外に図・表の挿入場所を明示する。
 - ⑤引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記する。
 - ⑥必要がない限り、表に縦線は使用しないでください。
 - ⑦表中で強調が必要な場合は下線、網掛け、枠で囲む、のいずれかの方法を用い、脚注へ説明を入れてください。
- 修正投稿時は「査読者への回答」を添付して下さい。本文・表中での変更箇所は黄色ハイライトで明示して下さい（図は使用不可）。